

科目名 (英)	衛生管理Ⅱ (HygieneⅡ)	必修 選択	必須	年次	1年	担当教員	鈴木久美子
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	火曜日1~3限、金曜日1~2限

美容専門学校卒業。数年間のサロンワークを経験後現在は各撮影やブライダルのヘアメイク業務に携わっています。将来皆さんが美容業に就くにあたっていろいろと参考になる知識や現在の状況、情報をお伝えすることができます。  
目的:不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて行う美容業務。その業務に就くうえで個人としての衛生を保つ事は元より、感染症の予防、衛生措置の重要性を学ぶ。

【授業を通じての到達目標】

衛生管理の意義と本質を明らかにする。国家試験科目でもあるため、各項目の重要点をまとめたプリントや問題集を用いてより理解を深める。また、問題集等を利用して苦手箇所を反復し克服する。

【使用教科書・教材・参考書】

日本理容美容教育センター発行『衛生管理』教科書、プリント、問題集等

【授業外における学習】

回	授業概要	テスト配点
1	感染症フィードバック・《感染症発生の要因》	
2	《感染予防3原則・主な感染症》	4点
3	《主な感染症、法律上の分類(一類～四類)、病原微生物との結びつけ》	
4	《主な感染症、法律上の分類(五類)、病原微生物との結びつけ》	4点
5	衛生管理技術《消毒とは、消毒の意義、法の規定》	2点
6	感染症の重要ポイント等の確認	
7	☆ 中間試験 感染症 フィードバック	20点
8	衛生管理技術《消毒法の種類、必要条件》	
9	《保存上の注意、理学的消毒法》	4点
10	《理学的・化学的消毒法》	
11	《化学的消毒法》	4点
12	《すぐれた消毒法の条件、消毒薬の概要》	2点
13	《器具の使い方、希釈法、器具類の消毒》	
14	衛生管理技術(重要ポイント等の確認)	
15	☆後期期末試験・衛生管理技術(8~13回) フィードバック	60点

【特記事項】毎回必ず名札を付ける事。中間・期末試験時は学生証も持参する事。毎回 教科書・プリント記入にあたり筆記用具(マーカー含む)を必ず持参すること。

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価

A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)

D評価(60~69点)

E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名 (英)	保健Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	米山 乃生
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 火・水
学科・コース	美容師科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>保健学は解剖学と生理学を合わせたような科目です。以前は「解剖生理学」という事もありました。          歯科大学で、解剖学、生理学を学び、卒業後は薬の業界から臨床へ、その後教育の場へ、同科目の教育については、登録販売者・歯科助手・歯科衛生士・美容師を育てる専門学校にて20年ほど携わって来ました。          この科目は人体を取扱う職業人として、当たり前には持っていなければならない知識と言えます。          美容師を目指す皆さんに必要な身体(構造)＝解剖学と身体(働き(機能))＝生理学を楽しみながら学んでもらいたいです。          知らないことを知る！それが専門課程の勉強です。知的好奇心を全開に学習に臨んでください。</p>							
【授業を通じての到達目標】							
<p>美容とは美しく変容させること。          美しさとは内側と外側の連携にて表れる現象です。          どんなに素晴らしい化粧品を使っても、肌がボロボロでは活かせません。          疲れや悩みで表情が沈んでいては映えません。          お客様や身近な人の健康や栄養、静養方法などの相談に応えられる美容師を目指します。</p>							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
公益社団法人日本美容美容教育センター 保健学				配布物の管理、ノートまとめ、復習、練習問題の演習、ワークブックの演習、			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	前期の振り返り						
2	・食物の通り道(消化管と消化運動)について知ろう。					2	
3	消化管の仕組み(続き)、消化管の働き、消化と物質代謝					2	
4	皮膚の基本構造を知ろう					2	
5	皮膚の基本構造を知ろう					2	
6	皮膚の付属器官の構造や働きを知ろう:毛、立毛筋					2	
7	中間テスト					20	
8	皮膚の付属器官の構造や働きを知ろう:脂腺、汗腺						
9	皮膚の付属器官の構造や働きを知ろう:爪					2	
10	皮膚の循環器系と神経系、皮膚と皮膚付属器官の働きのまとめ					2	
11	皮膚と皮膚付属器官の保健:体内病変、精神、栄養、水分、ホルモン					2	
12	皮膚の保護と手入れ、毛の保護と手入れ、子どものおしゃれによる皮膚トラブル					2	
13	皮膚と皮膚付属器官の疾患(1)					2	
14	皮膚と皮膚付属器官の疾患(2)						
15	定期テスト					60	
【特記事項】				【評価について】			
<p>★必ずノートと筆記用具を準備してください。          教科書にマーカーするので、蛍光マーカーも準備しましょう。</p>				<p>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</p> <p>●評価          A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)          D評価(60～69点)          E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</p> <p>●評価方法          評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</p>			

科目名 (英)	化粧品化学 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西島 明菜
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水
学科・コース	美容師科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験10年以上、衛生管理・化粧品化学・運営管理の教員資格を持った教員が担当します。 国家試験科目ですが、実際のサロンワークでも応用して活用できるよう、パワーポイント・プリントなどを用いて授業を進めていき、クイズなども出しながら授業を展開。 国家試験を意識した演習問題も解いていながら理解を深め、国試合格を目指していきます。							
【授業を通じての到達目標】							
教科書の内容を国家試験の出題傾向や、問題の出方を把握。最終的に合格出来るレベルになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
化粧品化学の教科書・プリント(授業に応じて配布)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	化粧品概論						
2	化粧品原料						
3	化粧品原料					小テスト 5点	
4	基礎化粧品						
5	基礎化粧品					小テスト 5点	
6	中間テスト前復習・演習						
7	中間テスト					中間テスト 20点	
8	メイクアップ用化粧品						
9	頭皮・毛髪用化粧品						
10	頭皮・毛髪用化粧品						
11	頭皮・毛髪用化粧品					小テスト 5点	
12	芳香製品と特殊化粧品						
13	基礎科学・総復習					小テスト 5点	
14	定期テスト前演習・復習						
15	定期試験					配点 60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	美容技術理論Ⅱ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西島 明菜
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 木・金
学科・コース	美容師科						
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師実務経験10年以上、衛生管理・化粧品化学・運営管理の教員資格を持った教員が担当します。 実際のサロンワークでも応用して活用できるよう、パワーポイント・プリントなどを用いて授業を進めていき、クイズなども出しながら授業を展開します。							
【授業を通じての到達目標】							
実際にサロンでも活かせるよう、ポイントを踏まえながら理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論2の教科書・プリント(授業に応じて配布)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	エステティック						
2	エステティック						
3	ネイル技術					小テスト 5点	
4	メイクアップ						
5	メイクアップ					小テスト 5点	
6	中間テスト前復習・演習						
7	中間テスト					中間テスト 20点	
8	日本髪						
9	着付けの理論と技術						
10	着付けの理論と技術					小テスト 5点	
11	総合復習						
12	総合復習						
13	総合復習					小テスト 5点	
14	定期テスト前演習・復習						
15	定期試験					配点 60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	美容実習 サロンワークII	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	池田 森口 長谷川 安田 西島
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
学科・コース						曜日・時間	月・火
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
講師実務9年、サロン実務20年現役美容師。美容の現場での動き、言葉遣い、技術をスチューデントサロン(少人数チーム)でサロン同様の予約、スタッフ担当係りを通じて現場経験で学べます。							
【授業を通じての到達目標】							
1セメで学んだ個人のスキルを生かし、2セメではチームで技術を向上していく意識共有や、個人の仕事の中でもチーム全体を見る視野を学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	チームに分かれ、サロン運営に必要な係り役職について学び、自分の担当する責任ある仕事をもつ。						
2	3チームに分かれ、サロン営業をし施術スピードの意識を学ぶ。					小テスト4点	
3	お客様の立場を体感し、施術時の接客テクニックに生かしチームで個人の体験を話し合う。						
4	サロン営業時にかけたい時間配分の、優先順位を考えスピードを意識してドライ、ブロー練習。					小テスト4点	
5	スタイリストの仕事でのポイント、サロンでの役割を学びお客様を担当できる。					小テスト4点	
6	アシスタントの仕事でのポイント、ヘルプ技術をサロン営業の中で体験できる。						
7	1人1客を担当し、受付からお見送りまでの接客、施術を生かしテストする。					中間テスト20点	
8	シザーズリーグ・ウィック1体を使い何戦か戦い1位を決める。発想力、ある道具でどこまで変化できるか学ぶ。						
9	サロン全体の営業回転や、席の確保、店内環境管理を理解する。						
10	スタイリストが担当するお客様を3人に設定し、アシスタントとのコミュニケーションを学ぶ。					小テスト4点	
11	同じ時間に自分のお客様が何人もいらしゃる時の、仕事の仕方を学ぶ。						
12	スタッフのスキルがお店の個性となることを知り、どんなスキルが大事か考えチームで学ぶ。						
13	スタイリスト、アシスタントの担当する仕事のポイントを学ぶ。						
14	定期テストを目標に、チームとしてどう営業し評価されるかチームで意識を話し、共有する。					小テスト4点	
15	1年間で学んだ自分のスキル、個性を生かしお客様を仕上げる。					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 シャンプーⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	八谷・徳山・森口・西島・安田・須藤・前川
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	火・木・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師歴20年目。現在もサロンで働きながら、ベルエポックでは現場での実践的な接客、技術を指導しています。1セメスターで習得したシャンプーの技術を絡めた、シャンプーマッサージ、ブロー、スタイリング、トリートメントなど、就職してから現場でどのようなことを具体的に仕事をしていくかの説明も含めた技術を学びます。また現場での接客も技術と共に学んでいきます。3チームに別れてそれぞれ講師がつくので様々な角度から美容の技術を学ぶことができます							
【授業を通じての到達目標】							
1セメスターで学んだシャンプーの技術を実際のサロンワークを絡めて、カウンセリング～仕上げまでの技術を習得する。現場で実際に使う技術に触れることで自分が得意なこと苦手なことを知り、どのように学び練習していけば技術を向上させることができるか考えられるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テ ス ト 配 点	
1	カウンセリングの意味と流れを知り、実践をする。、3ステップトリートメントの技術を習得し、カウンセリング～シャンプー～トリートメント～仕上げの流れを実践する。						
2	メンズのドライ～スタイリング技術を習得する。						
3	くせ毛や縮毛矯正で使うストレートアイロンの使い方、技術を習得する。。						
4	炭酸シャンプーを使ってシャンプーマッサージの技術を習得する。					小テスト10点	
5	席で施術するトリートメント技術とアシストの仕方を学ぶ。						
6	メンズのドライ～スタイリング技術を復習する。					中間テスト10点	
7	ストレートアイロンの技術の復習する。					中間テスト10点	
8	カウンセリングを含めたシャンプーマッサージ～仕上げまでの技術。						
9	波ウェーブのワインディング方法を学ぶ。						
10	席で施術するトリートメントをシャンプー技術も含めた復習。						
11	違うチームのメンバーの接客・技術を体験して自分の接客と技術に生かす。						
12	バックシャンプー、サイドシャンプーの復習					小テスト10点	
13	シャンプーマッサージを含めたサロンワーク。						
14	スタッフ同士のコミュニケーションの取り方を学び、より円滑にサロンワークが進められる方法を学ぶ。						
15	カウンセリング～シャンプーマッサージ～仕上げまでの総復習。					定期テスト60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 カットⅡ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山崎・中村・長塚・大谷・佐々木・伊東
学科・コース		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 月・木・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
日々サロンワークに携わる講師が教える。 半年間の授業を通し、レイヤーカット・クロップカット・ファッションカラーの基礎知識、応用技術を習得する。							
【授業を通じての到達目標】							
レイヤーカット・クロップカットの基礎知識、応用技術を習得し、ウィッグで再現出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					WIG	テスト配点
1	ベーシックレイヤーカット の基礎知識					E(茶)	
2	ベーシックレイヤーカット の技術					E(茶)	
3	レディースウルフカット (デザインカット)					F(黒)	小テスト (5点)
4	復習					F(黒)	
5	復習					F(黒)	
6	ベーシックレイヤーカット の技術					E(茶)	小テスト (5点)
7	中間試験					F(黒)	中間 (20点)
8	メンズレイヤーカット (デザインカット)					E(茶)	
9	ベーシッククロップカット の基礎知識					A(黒)	
10	ベーシッククロップカット の技術					B・F(黒)	小テスト (5点)
11	メンズクロップカット (デザインカット)					C(茶)	小テスト (5点)
12	復習					G(金)	
13	コンテスト風カットスタイル (デザインカット)					G(金)	
14	定期試験					H(金)	定期 (60点)
15	カットコンテストに向けたスタイル練習					D(茶)	
【特記事項】					【評価について】		
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点) 評価(60~69点) 価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>		
					D E評		

科目名 (英)	美容実習 ワインディングⅡ		必修 選択	必修	年次	1	担当教員	張・井坂・半沢・山下・西島
学科・コース	美容師科		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)								
サロンワーク、ブライダル、撮影の仕事を長期にわたりさせて頂いております。本校の実技講師としても授業と並行してサロンワークを継続しております。その経験から基礎技術の重要性をしりました。学校での2年間で正確な基礎技術を身に付けて応用し、将来に生かして頂きたいです。i								
【授業を通じての到達目標】								
全頭23分を正確な巻き方で巻けるようにする。								
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点	
1	オールバックの状態から全頭30分で巻く。							
2	手順確認、準備物チェック、全頭29分							
3	手順確認、準備物チェック、全頭28分							
4	手順確認、準備物チェック、全頭28分							
5	手順確認、準備物チェック、全頭27分							
6	手順確認、準備物チェック、全頭27分							
7	手順確認、準備物チェック、全頭26分						20点	
8	手順確認、準備物チェック、全頭26分							
9	手順確認、準備物チェック、全頭26分							
10	手順確認、準備物チェック、全頭25分							
11	手順確認、準備物チェック、全頭25分							
12	手順確認、準備物チェック、全頭24分							
13	手順確認、準備物チェック、全頭24分							
14	手順確認、準備物チェック、全頭23分							
15	手順確認、準備物チェック、全頭23分						60点	
【特記事項】					【評価について】			
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			



科目名 (英)	美容実習 オールウェーブ I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	山下・小笠原・井坂・萩尾
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 火・金
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験実技科目 実務経験20年以上の教員が担当 第2課題であるオールウェーブセッティングを合格レベルに到達させ、国試審査基準を理解した作品に作成するための技法を指導							
【授業を通じての到達目標】							
国試課題の科目を合格点までもっていく。レベルアップと不得意箇所の改善。審査項目を取り入れる作品作り。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
道具一式 衛生用具一式 ノート 教科書 筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1年次の復習 確認 全頭35分完成 7段構成確認						
2	1段目 2段目 3段目までタイムアップ スカルプチュアカールの完成度をあげる。3段目までのバランス強化						
3	フィンガーウェーブ強化 7段ウェーブ幅 くりぬき部分の確認						
4	4段目 5段目強化 リフトカールの完成度をあげる。						
5	6段目メイボールドカール					5	
6	7段目クロッキノールカール カールの位置とピンニング強化					5	
7	中間試験 全頭30分 7段ウェーブバランスとカールの位置					20	
8	ウェーブ リッジ強化 毛流れハーフウェーブになっているか 割れや重なりがないか						
9	左右ウェーブと中央カールのエリアの確認 3等分になっているか						
10	ステムの方向性 リフトカールのステムおさまりの見直し						
11	耳まわりのウェーブ リッジ 幅の強化 右側ウェーブ強化						
12	審査項目意識しながら 完成度をあげる						
13	全頭25分を仕上げる。不得意箇所の改善					5	
14	定期試験に向けてタイムの確認 タイムアップ 見直し					5	
15	定期試験全頭25分					60	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道II Careers Seminar II	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・神谷・佐藤・尾崎・野村・大迫
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	月・木・金
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師現場経験のある教員が、自己分析を通じて、現場実習や就職活動時に必要な履歴書の作成(学歴、自己PR)の仕方を学ぶ。 就職活動に向けて、模擬面接を行い、夢の実現のための心構えを持つ。							
【授業を通じての到達目標】							
就職活動に向けて必要なことを学び、行動がスムーズに行えるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
資料や教材は授業で配布							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	業界研究・職種研究をし、求人情報を知る						
2	履歴書 自己PR作成に向け、自己分析をする						
3	履歴書 自己PR作成に向け、下書きを作成する						
4	履歴書 自己PR文を完成させる					小テスト 10点	
5	模擬面接に向け、自分の回答を考え、まとめる						
6	クラス内面接練習						
7	学内模擬面接					中間テスト 20点	
8	現場実習に向け、サロンを調べる						
9	現場実習用履歴書作成						
10	現場実習用履歴書の完成					小テスト 10点	
11	現場実習のお礼状の書き方を学ぶ						
12	就職活動に向けて、受験先の候補を調べる						
13	コンテスト用コンセプトシートの作成						
14	就職活動に向けて、履歴書の作成						
15	就職活動に向けて、履歴書の完成					定期テスト 60点	
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価 (90～100点) / B評価 (80～89点) / C評価 (70～79点) D評価 (60～69点) E評価 (出席不良・評価資格喪失) / F評価 (0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	国際教育	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	岩本 賢矢
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期
						曜日・時間	集中
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
より広い視野で物事をとらえる国際的感性を学ぶ 他国の技術、知識、文化を学び自身の美容師としての幅を広げる							
【授業を通じての到達目標】							
海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイク技術、知識の幅を広げる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				地域清掃を行い、街の環境美化に対する気配り心配りを養う。			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と海外のヘアメイクの違いについて、調べ学習や発表を通して理解を深める</li> <li>・海外研修プログラムの概要を理解する</li> </ul>						
2							
3							
4							
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘアメイク科で例年行っている海外研修の内容を理解し、イメージを広げる</li> <li>・昨年参加した先輩から話を聞き、学びを深める</li> <li>・研修先の施設を調べ、どのようなプログラムが行われたのかを理解する</li> </ul>						
6							
7							
8							
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外研修先のロサンゼルスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる</li> <li>海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する</li> <li>日本との違いを学ぶ</li> </ul>						
10							
11							
12							
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロンドン・フランスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる</li> <li>国ごとの考えの違いや、顧客の違いを理解する</li> <li>海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する</li> <li>海外での学びの重要性を理解する</li> </ul>						
14							
15							
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅱ Beauty Politeknizm Ⅱ	必修 選択	選択 必修	年次	1	担当教員	桐谷・今井・久保・堤
学科・コース	美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分	後期
						曜日・時間	火
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
現在ヘアメイクアーティストとして現場などで活躍している講師が担当 美容師に必要なヘアメイク技術はもちろん、撮影、ショー、舞台、などシーンに合わせたヘアメイク技術を学ぶ。							
【授業を通じての到達目標】							
アイロン技術、スタイリングの技術、再現性を習得。 メイクの基礎手順・技術、応用を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要						テスト配点
1	シーン別、年代別メイク 60年代						
2	シーン別、年代別メイク 70年代						
3	シーン別、年代別メイク 80年代						小テスト4点
4	シーン別、年代別メイク 90年代						
5	シーン別、年代別メイク 00年代						小テスト4点
6	シーン別、年代別メイク クリエイティブ						
7	シーン別、年代別メイク 応用						中間試験20点
8	シーン別、年代別ヘアアレンジ サロンスタイル						
9	シーン別、年代別ヘアアレンジ 雑誌撮影スタイル						
10	シーン別、年代別ヘアアレンジ ドラマ、映画スタイル						小テスト4点
11	シーン別、年代別ヘアアレンジ SNSスタイル						
12	シーン別、年代別ヘアアレンジ コンテストスタイル						
13	シーン別、年代別ヘアアレンジ ブライダルスタイル						
14	シーン別、年代別ヘアアレンジ ブライダルスタイル						
15	シーン別、年代別ヘアアレンジ 応用						定期試験60点
【特記事項】				【評価について】			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>			